

# あかね

明石市立明石商業高等学校図書館発行



読書の  
すすめ

「カネを積まれても使  
いたくない日本語」

内館牧子 著

校長 伊藤 雅弘

「ドナー様のお名前様もご住所様も、もちろんケータイ様も教えてもらえないカタチですけれど、何だろ、息子は手術室から生きて出られたし、やっぱ、めっちゃ嬉しい気持ちとかを、直接伝えさせて頂かないとヤバくないかと。エ、ダンナと言ってる、何だろ、ソッコーで会見やらさして頂きました。」

「前書き」に載っている、息子への臓器提供を感謝する母親の言葉だ。もちろん架空の会見である。ここまで気持ちの悪い日本語を並べられるとは、「内館さんお見事！」としか言い様がない。これを読んで違和感

を持たない人はいないと思うが、それでも、日常の会話で無意識のうちに行くつか使ってしまうってあるかというこい。肝心なのは、著者が言うように「時」と「場所」と「場合」で使い分けれること、そうできる感性を身につけることだろう。

内館さんは、メモをとりながらテレビやラジオを聞いて、用例を集めたそうだ。また、アンケートの結果や、アンケートの結果や、読者から手紙やメールで寄せられたものも多数紹介している。さすが「横審の魔女」だけあって、バツサバツサの滅多斬り。実にスカッとする。だが、例があまりにも多くて少々食傷気味になることがある。それに、気をつけないと、知らず知らず自分の身につけてしまった言葉もバツサリと斬られ、自己嫌悪に陥ってしまうかも知れない。「正しい日本語をもっとも使うべき職業は？」

というアンケートの回答で、1位は「アナウンサー・キャスター」、2位は「教師」だったらしい。本書は、生徒の皆さんに読んでほしいのだが、ぜひ、先生方にも読んで頂けたらと思う。

「バッティングの理屈」

落合博満 著

事務局長

山脇 健次

野球経験者ではないのですが、プロ野球を見ることは好きで、三冠王を3度獲得した落合博満が現役のとき応援していたこともあり、読んでみました。

この本は、野球のバッティングについて書かれた専門的な内容になるため、理解できないこともありますが、すべてのスポーツに通じることも書いてあるので、運動する人や指導する人には参考になると思います。

印象に残った言葉は、「一回でも多くバットを振った選手が生き残

る。」「練習は実践に即した形で行うべき。」「自分の技量を高めていく上では、技術を学び、盗み、すなわち「ほかの選手を見る目」が重要。」「スランプに落ちた時は、基本に戻る。基本とは食事と睡眠をしつかりと、体力を戻すこと。」「頭や体が忘れてしまいうデリケートな技術事は、メモに書き残しておく。」「いい結果の背景には必ず理由がある。」「練習でやらないことは、試合では走れない。」「体の強さは走りこんだ距離で決まる。」「などですが、技術論は別にして、しんどい思いや辛い思い、努力の継続の先に報われることがあるのかなと思えました。

「シエラザード(上・下)」

浅田次郎 著

教頭 寺岡 正人

第一次大戦中に起きた「阿波丸」の悲劇を素材にした小説です。「阿波丸」は連合国の要請で捕

虜や民間人への救援品の輸送任務にあたっては安全が保障されていたにもかかわらず、米国潜水艦の攻撃を受けて昭和二十年四月一日の夜半に台湾海峡で沈没し、本土への疎開のために乗船した幼い子どもを含む二千四十四人の命が奪われました。作中には膨大な金塊を積んだ「弥勒丸」という名で登場しています。

横浜―サンフランシスコ間を十日で結ぶことができた海運国日本が威信をかけて建造した豪華客船「弥勒丸」の運航に関わったことにより、理不尽な運命に翻弄された人々の生き様が感動的に描かれています。

謎の中華民国政府密使から「弥勒丸」の引き上げ話を持ち込まれた元銀行員とかつての恋人たちが、過去と現在をたぐ見えない糸をたどっていく過程で、日本人が戦後の平和と繁栄のうちに葬り去った真実が次第に明らかにされ

ていく過程も興味深く感じました。戦争という過酷で醜い現実の向こう側にある美しくも切ないロマンが綴られており、戦後七十年を迎えたこの節目に是非読んでほしい作品です。

ちなみに「シエラザード」とは「千夜一夜物語」(アラビアンナイト)で夜ごとに面白い話を王様に聞かせた王妃の名前です。

「竜馬がゆく」  
司馬遼太郎 著  
教頭 橋本 浩二

前回の「館報あかね」で本屋大賞について書きました。二〇一五年本屋大賞に選ばれた作品は読みます、と宣言しましたが途中で挫折しました。「鹿の王」という作品です。読み始めても、なかなか入ることができませんでした。あらためて本というのは食べ物と同じで、好き嫌いがあり、他人に強制したり薦めたりするものではない、と感じました。とい

う思いもあり、私は読書感想文の課題図書というものが大嫌いでした。にもかかわらず、どうとう司馬遼太郎の「竜馬がゆく」にはまってしまいました。高校生時代以来、大人たちが機会あるごとに読むように薦める「竜馬がゆく」でした。が、司馬遼太郎の作品は年寄りが読むものだと決めていました。

坂本龍馬という名前を聞いたことがない人はいないでしょう。この作品がなければ、坂本龍馬の存在すら多くに知られることがなかった、言わば今の竜馬像は「龍馬がゆく」で確立されたものです。

分厚い文庫本で全8巻、現在第3巻を読んでいます。面白くて睡眠時間が削られている毎日です。私も年寄りの仲間入りかな?と思いつつ、この年齢になってやつと世の大人たちの仲間入りができた満足感も得ています。



「読書のきっかけ」

一年七組 担任  
射場 仁

「本を読みなさい」  
—どの世代の人も一度は言われたことのある言葉だと思えます。ですが、読めと言われて、読書が好きになった人はほとんどいないのではないのでしょうか。僕もその一人でした。読書なんかしても面白くない。映画を見た方が面白い。そう考えていました。

高校生の時に、とある映画が大ヒットしました。「ロード・オブ・ザ・リング」という映画です。この映画は、「トールキン」という作家が一九五四年から五五年にかけて出版した同名の長編小説を原作にした映画です。僕も流行に乗り、友人と映画館まで見に行きました。後に発売されたDVDを購入するほど、のめり込みました。何年かのちに、大学の友人から「原作の方がお

もしろい」と、原作をすすめられました。翻訳版は全九巻にも及ぶもので、その分量に圧倒されましたが、読み始めると一文一文読むたびに、映画で見た情景が頭の中に浮かび、一、三週間ほどで読破してしまいました。また、英語が好きだったこともあり、英語版も読みました。

この経験がきっかけで、好きな映画に原作がある場合は、その原作を読むようになり、映画化されていらない作品も読むようになりました。読書をするようになるきっかけというものはそれぞれです。何がきっかけになるかは、本人にも分かりません。多くのきっかけを掴むために、色々なことを経験していくってほしいと思います。



「空中ブランコ」  
奥田英朗 著

一年二組担任  
勝田 真萌

飛ばない空中ブランコ  
乗り、強迫神経症の医者  
イップスに悩むプロ野  
球選手……。患者たちがわ  
ずかな望みを抱いて訪  
れるのが、有名医師がい  
るといふ伊良部総合病  
院の神経科です。しかし  
この神経科医伊良部一  
郎は、腕は一流でもかな  
りの変わり者。治療をと  
言えば不必要なビタミ  
ン注射を打つのみで、そ  
の後は患者を連れて病  
院を抜けて、団員の制止を  
振り切って空中ブラン  
コに乗ってみたり、プロ  
野球選手とキャッチボ  
ールをしたりと、好奇心  
の赴くままに患者を巻  
き込んで動き回ります。  
終始、裏表のない自由人  
として伊良部は描かれ  
ていますが、実は演技な  
りではないかと思っていま  
うほど、この「巻き込み  
方」が結果として患者の  
治療に役立っているの

です。

私が高校生だったと  
き、夏休み前に高校の先  
生に「読書感想文におす  
めです」と紹介された  
のがこの本でした。神経  
科、精神科と聞くとあま  
りいい印象がないかも  
しれませんが、この本で  
暗い重たい内容は一切  
ありません。短編集です  
ので短くて面白い話が  
好きという人におすす  
めです。私たちはたくさ  
んの人々と共存するな  
かで多種多様なストレ  
スや精神的な問題を抱  
えています。この本を読  
んでいるうちに、それら  
の原因も伊良部先生が  
気づかせてくれるかも  
しれません。

「しあわせのパン」

三島有紀子 著

三年一組副担任  
酒井 あゆみ

私は本を読むことが  
好きで、小・中・高と図  
書室によく通っていま  
した。色々なジャンルを  
読む中で、最近ほっと  
なごむような作品を好  
んで読んでいます。この

本は、タイトルに惹かれ  
て手に取りました。

北海道の静かな町・月  
浦に若い「夫婦」が営む  
宿泊ができる小さなパ  
ン屋「カフェ・マーニ」  
ができました。たちまち  
近所で人気の店になり、  
子沢山で農家経営の広  
川一家、謎のトランクを  
持った阿部さん、地獄耳  
のガラス作家・陽子さん  
そして毎日配達にきて  
くれる郵便屋さんなど  
の常連客に憩いの場を  
提供しています。実らぬ  
恋に未練する女性、出  
行った母への思慕から  
父を避ける少女、生きる  
希望を失った老夫婦が  
次々と店を訪れます。彼  
らを優しく迎えるのは、  
水縞くんが心を込めて  
作る温かなパンとりえ  
さんが入れる一杯の珈  
琲。このカフェを訪れた  
人たちは、自分と向き合  
い希望を手に入れて帰  
っていきます。しかし、  
この「夫婦」にも秘密が  
あって……

でも楽しむことができ  
ます。ゆっくりと読書を  
したい人におすすすめし  
たい作品です。

「面白くてよくわか  
る！アドラー心理学」

星一郎 著

一年四組担任  
玉置 友耶

大学のゼミでスポーツ  
心理学を学んだことが  
きっかけでこの本に出  
会いました。アドラーと  
は心理学者です。漫画で  
分かりやすく紹介して  
ある本も人気がありま  
す。今回は私がこの本で  
印象に残った部分を紹  
介します。

この本で、劣等感につ  
いて書かれていました。  
劣等感とは、自分ができ  
ないことを「できない」  
「劣っている」と認識す  
る感情のことです。マイ  
ナスなイメージの方が  
強いと感じる人もいる  
かもしれません。このよ  
うな感情を感じたこと  
が一度や二度あるのだ  
はないでしょうか？劣  
等感を抱くのは自分ら  
理想を持っているから

です。理想と現実の差  
自分の劣っている部分  
を克服して理想に近づ  
けようとする事によ  
ってやる気が出てが  
んばろうとします。アドラ  
ーの考え方は、劣等感を  
自分の理想に向かって  
よりよく生きるための  
刺激と捉えました。そし  
て、劣等感があつたから  
こそ人類は発達でき文  
化や文明を発展させる  
ことができました。アド  
ラーは『劣等感幸福の  
鍵にもなる』と言ってい  
ます。

劣等感を抱くことは自  
然なことです。大切な  
は、理想が現実になるた  
めにどうやってそれを  
どうやって活用する  
かということ。その活  
用方法は、人に相談す  
ることであつたり、苦手な  
ことから逃げずに立ち  
向かっていく事など人  
によってさまざまです。  
何かに悩んでいる時や  
気持ちが悪くモヤモヤした  
時にこの本を読む気が  
します。気持ちを整理す  
ることによって問題点  
や目標を見つける事が

でき、解決策を考える事ができるのではないのでしょうか。この本が、文字だけでなく図もあるので分かりやすくなっています。気持ちの整理をするときには非読んでみてください。

「日本人という生き方」  
小田島 裕一 著  
一年五組担任  
丸山 智也

小田島裕一さんは、青年海外協力隊としてウガンダ共和国に行った。彼は、日本の野球、日本の躰を通して人間教育をすることを目指した。しかしそこで見た光景は、道具が散乱している部室、手入れされていない道具、まじめのレベルの低さなど、日本では指摘されることがウガンダでは当たり前のこととして認識されていた。生徒たちに夢を聞くと、「ウガンダチャンピオンになりたい」と答えた。彼は「チャンピオンになるためにはふさわしい振る舞いがある」と言い、再建の三原則「時

を守り、場を清め、礼を正す」を徹底させた。しばらくすると、生徒の行動に変化が見えた。しかし小田島さんが見ているところではやるが、見ないところではやるが、手を向くといった新たな問題も出てきた。

その時にウガンダでシャツの製造工場を経営している、柏田雄一さんのところへ生徒を連れていった。そこで生徒達は、ウガンダの大人が「時を守り、場を清め、礼を正す」を徹底している光景を見て、生徒たちは感銘を受けた。

学校に帰ると、学校の中で率先して行動する、時間の30分前には集合するといった様子が見えた。小田島さんが来た当初は1-19で敗戦したウガンダのナショナルチームに3か月で2-3とほぼ互角の戦いができるまでになった。

きてほしいと思います。

「一路」  
浅田 次郎 著  
保健部 三浦淑子

最近あまり本を読まないの、あかね原稿依頼がありました。時には、一瞬戸惑いながらもペンがすすみませんでした。が、友人から勧められた本「一路」をご紹介します。若い侍が真面目に一つ一つ困難を解決し最終地まで行く参勤交代の物語です。今の若者に必要なものが、作品の中にあると思います。

十九歳の小野寺一路が、突如参勤交代の差配を任され、関ヶ原付近から12日間で無事中山道を江戸に着けるのかという物語です。迷い、悩み、苦しみの連続ですが、一生懸命あついで行軍を続けます。若い皆さんも大きな壁にぶつかった時には一路の様に逃がずにやってみようという前向きな気持ちになっけてくれればと思います。

もう一冊ご紹介します。「置かれた場所で咲きなさい」著者 渡辺和子 ノートルダム清心学園理事長「人はどんな境遇でも輝ける。どうしても咲けない時は、下へ下へと根を伸ばす。つらい日々も笑える日につながっているのです。」

この本は、2年くらい前に読んだ本ですが、お茶を飲みながらでも、頭や心を休めるのに気楽に読める本です。どこから読み始めても、閉じても続きは、と心配しなくても大丈夫です。

「動物農場」  
ジョージ・オーウェル 著  
事務局 山本 美歌

人間農場主によって過酷な労働状況に置かれていた動物たちは、長老豚の夢と偶発的に起きた革命で、見事人間を農場から追放することに成功します。人間無きあの農場は、二匹の動物リリーダーを中心に、以前の「荘園農場」から「動物農場」に名前を変え、動物たちが平等に暮ら

するための戒律「七戒」を定め、動物たちは順調に農場運営をしていきます。しかし、すべての動物が平等であるはずの動物農場が次第に変わっていき、戸惑っていく動物たち・・・そんな動物社会の様子をみなさんはどう感じるでしょうか？

この物語は一九四五年にイギリスで刊行され、その後、アニメ・映画化もされています。リリーダー的存在のストーンボールとナポレオン(豚)・忠実で働き者のボクサー(馬)・インテリのベンジヤミン(ロバ)。

同じ言葉繰り返し喋るだけの羊たちなど、擬人化された各動物の個性豊かなキャラクターの描写が結構面白いです。もしかしたら登場人物の中に自分と似たキャラクターがいるかもしれないので探してみてください。また、自由とは何か？平等とは何か？本当に幸せな暮らしとはどういうものなのか？というものを深く考えさせ

られる作品です。興味を持って読む方はぜひ手に取ってみてください。

「鬼平犯科帳」  
池波 正太郎 著  
事務局 菅尾 勝

私が今まで数多くの本を読んできましたが、その中で一番良かった本です。

歴史小説は、昔から映画化やドラマ化されていますが、その多くは、小説の内容を忠実に再現するのではなく、興味を引くための手直しをしています。

しかし、『鬼平犯科帳』は、特に脚色されることもなく、小説の内容がそのまま映画やドラマになっています。この小説が面白いという証拠だと思います。

ちなみに、主人公の長谷川平蔵は、実在の人物であり、火付盗賊改方長官という肩書も本当にあったもので、時の将軍より直接命ぜられるため、辞退することや、自分の都合で辞めることもできない大変な職務

であったようです。ほとんどの人は、早く解任してもらえらるよう、あまり仕事をしなかつたようです。長谷川平蔵は、色々なアイデアを出し、検挙率を上げていたようです。

若い人は、歴史小説に抵抗があるかも知れませんが、一度読んでみると、面白さがわかり、歴史の勉強に興味を持つきっかけになるかも知れません。私も中学時代に歴史小説を読み始めてから、歴史の授業が好きになりました。とにかく読んでみることをお勧めします。



図書館より

六十一回生の皆さん、卒業おめでとうございます。恒例の卒業式前の三学年がそろつた年間ランキングです。



17位	16位	11位	11位	11位	11位	11位	9位	9位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	2位	1位
国語	商業	3の5	3の2	3の1	1の5	1の2	1の1	保健	商業	3の1	3の2	体育	1の1	2の2	1の3	商業
(M先生 9冊)	(H先生 10冊)	(Kさん 11冊)	(S君 11冊)	(Kさん 11冊)	(Sさん 11冊)	(Kさん 12冊)	(I先生 12冊)	(O先生 16冊)	(O君 20冊)	(Tさん 22冊)	(T先生 24冊)	(Mさん 27冊)	(N君 31冊)	(H君 32冊)	(T先生 41冊)	《個人貸出数》

(二月四日調べ)	9位	9位	7位	7位	6位	5位	4位	3位	2位	1位	《クラス対抗読書数》	20位	20位	20位	18位	18位
	1の6	1の2	3の3	1の5	3の5	1の3	3の1	2の2	1の1	3の2		商業	3の2	1の5	3の3	2の6
	(15冊)	(15冊)	(18冊)	(18冊)	(19冊)	(32冊)	(37冊)	(38冊)	(42冊)	(45冊)		F先生	Kさん	Uさん	Sさん	Fさん



「あかね」第一一〇号をお届けします。読書のすすめには、おすすめの本の紹介や感想だけでなく、読書体験にまつわる思い出やエピソードなど、様々な切り口で語ってくださった原稿が集まりました。今年度、新しく着任された先生方等を中心にご覧に上がりましたところ、快くご承諾いただきました。誠にありがとうございます。生徒の皆さんの新たな本との出会い、そして新たな世界との出会いのきっかけになります。今年度の貸出に関するランキングを掲載しています。

(図書館長)



編集後記